

もっとつながる、
もっとひろがる。

Chino City
Museum
of Art



《喝采》1978年 長崎県美術館蔵

●本展では、作品を見て触れて感じて欲しいという
作家の遺志を受け、一部ブロンズ作品に
触れて頂ける展示を行います。



《若き日のコロンブス》1991年 長崎県美術館蔵

来て、
見て、
触れて、
感じてみよう！



《シャムネコ》1977年 長崎県美術館蔵

直富永樹展

生誕一〇〇〇年記念

2014
4.19(土) → 5.18(日)
茅野市美術館

【開館時間】10:00 - 18:00

(4月19日は10:30から開館式を開催し、終了後に開場)

【休館日】毎週火曜日

(ただし火曜日が祝日の場合は、その直後の休みなし)

【観覧料】一般 500円 (300円)

高校生以下は無料

※障がい者手帳、療育手帳をお持ちの方と付添の方
1名は無料。()内は20名以上の団体料金。

《塗る男》1949年 長崎県美術館蔵



《待ちに待ったオランダ戦艦が二艘長崎港に入港す「全員集合」》
2000年 長崎県美術館蔵

富永直樹(1913.12.00)は、長崎県長崎市に生まれ、東京美術学校現東京藝術大学美術学部彫刻科在学中の1936年に《F子の首》によって文展(後の日展)に初入選して以来、日展を主な舞台に活躍した彫刻家です。1983年には茅野市・蓼科にアトリエを構え、以降は東京と蓼科を制作拠点としました。富永は「作家たる前に人間であれ」と語り、創作活動を続けました。本展では、日展出品作品を中心とした彫刻作品および関連資料、総数約70点により、その歩みを見つめます。

「関連イベント」

さてみて！親子ギャラリーツアー

ガイド：茅野市美術館サポーター、学芸員

4月27日(日)11時00分、茅野市美術館

参加費：無料(対象は小中学生とその保護者。保護者の方は1名無料。会場入口に5分前集合)

ガイドと一緒に話しながら、作品を鑑賞します。

美術を語る「富永直樹」

ゲスト：野中明(長崎県美術館学芸員)

4月19日(土)13時30分、茅野市美術館

参加費：無料(要観覧券チケット)

さてみて！ギャラリーツアー

ガイド：茅野市美術館サポーター、学芸員

5月6日(火・休)14時00分、茅野市美術館

参加費：無料(要観覧券チケット)

学芸員によるギャラリートーク

5月10日(土)11時00分、5月18日(日)14時00分

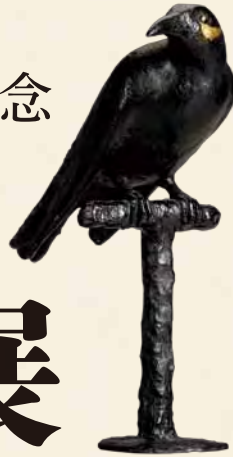
茅野市美術館

参加費：無料(要観覧券チケット)



生誕一〇〇年記念

富永直樹展



《こんにちは》1979年 長崎県美術館蔵



《大將の椅子》1984年 長崎県美術館蔵

主催：茅野市美術館、富永直樹展実行委員会

企画協力：長崎県美術館 協力：NPO法人サポーターC 美遊com.

後援：長野県、長野県教育委員会、茅野市、茅野市教育委員会、岡谷市教育委員会、諏訪市教育委員会、下諏訪町教育委員会、富士見町教育委員会、原村教育委員会、諏訪教育会、信州美術会、諏訪美術会、茅野市美術協会、岡谷市美術会、諏訪市美術会、下諏訪美術会、富士見美術会、信濃毎日新聞社、長野日報社、信州・市民新聞グループ(7紙)、長野エフエム放送、エルシーブイ株式会社、月刊ぶらざ、JR東日本 長野支社、諏訪地方観光連盟、信州諏訪農業協同組合



茅野市美術館(茅野市民館内)

〒391-0002 長野県茅野市塚原一丁目1番1号

Tel.0266-82-8222 <http://www.chinoshiminkan.jp/>

■ JR中央線・茅野駅下車、東口直結 ■ 中央自動車道・諏訪ICより車で約12分